

# 人と豊かな自然が共生し 自立する交流の島 隠岐



国賀海岸（西ノ島町）

## 隠岐支庁県土整備局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24  
TEL:08512-2-9724 FAX:08512-2-9759、9760  
[http://www.pref.shimane.lg.jp/oki\\_kendo/](http://www.pref.shimane.lg.jp/oki_kendo/)

## 島前事業部

〒684-0302 隠岐郡西ノ島町大字別府字飯田56-17  
TEL:08514-7-9111 FAX:08514-7-9129

# 隠岐支庁県土整備局の概要

隠岐諸島は、島根県の北東、日本海の一群岛で 4 つの有人島と180余の小島からなります。

島を大別して島前、島後と称し、島前は南西にある知夫里島（知夫村）、西ノ島（西ノ島町）、中ノ島（海士町）の 3 島からなり、島後は、島前の北東18kmに位置する隠岐諸島中最大の島であり、平成16年10月1日に西郷町、布施村、五箇村、都万村が合併してできた隠岐の島町からなります。

また、隠岐諸島から北西約157kmの位置にある日本海の孤島、竹島は隠岐の島町に所属し、東西 2 つの島と数十の岩礁からなり、その総面積は約 0.21km<sup>2</sup>です。

隠岐諸島には断崖・絶壁などの美しい景観や、離島ならではの自然や歴史文化が豊富であり、全国に誇れる観光資源となっています。

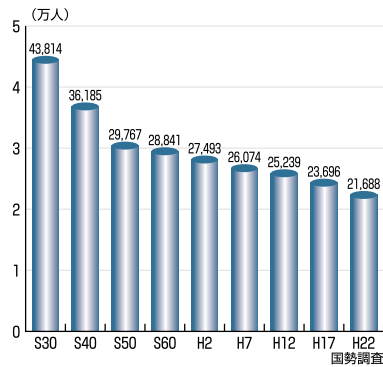
平成25年 9 月 9 日には、「世界ジオパーク」に認定されました。

管内面積及び人口・世帯数

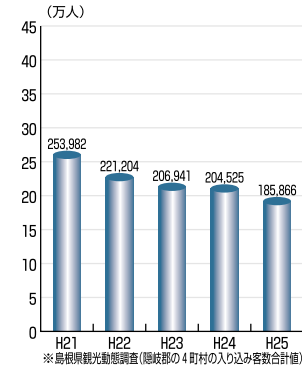
町 村 名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (世帯)
海 士 町	33.52	2,374	1,052
西ノ島町	56.05	3,136	1,477
知 夫 村	13.70	657	326
隠岐の島町	242.95	15,521	6,468
隠岐郡計	346.22	21,688	9,323

面積：平成25年10月1日現在（平成25年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院））  
隠岐の島町の面積には、竹島の面積0.21km<sup>2</sup>が含まれています。  
人口・世帯数：平成22年10月1日現在（平成22年 国勢調査）

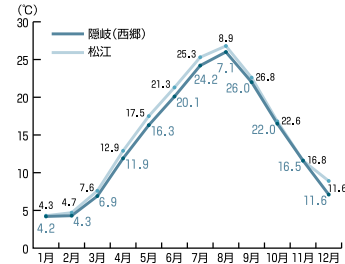
## 人口の推移



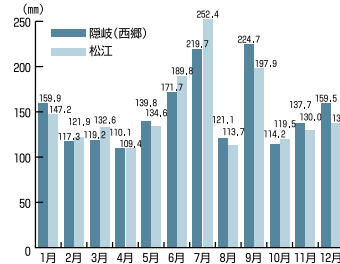
## 観光客数



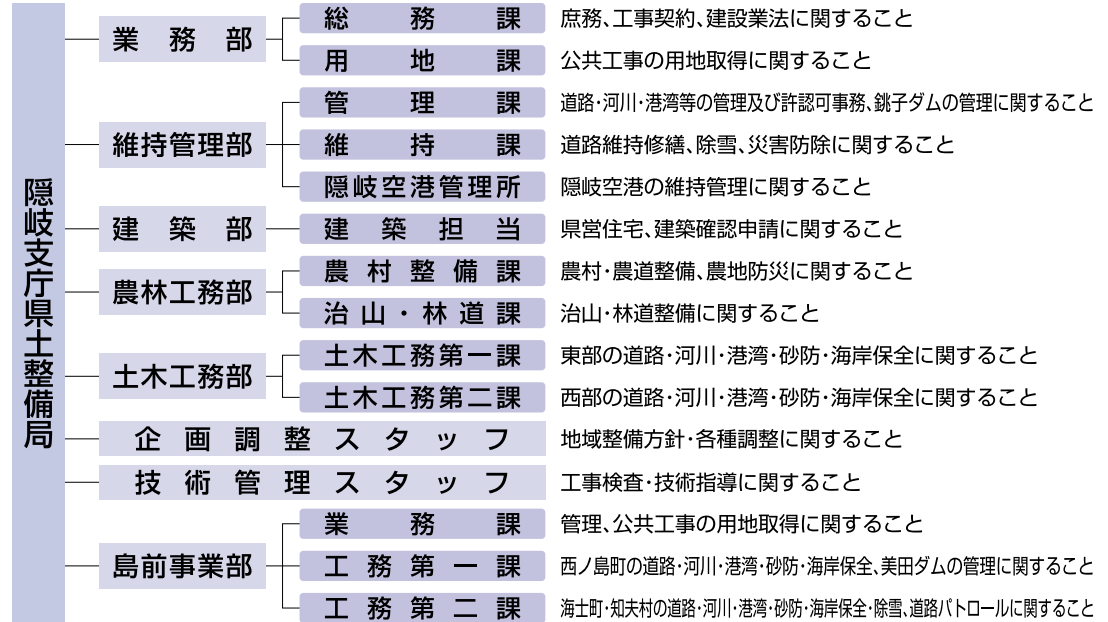
## 気温



## 降水量



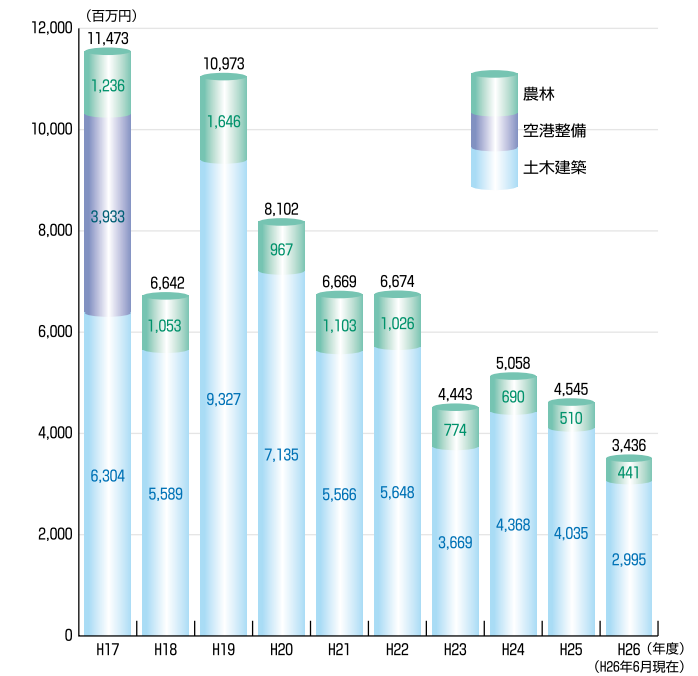
## 組織・業務内容



## 沿革

- 明治25年 第一土木管区として発足
- 昭和31年 (管轄：松江市、能義郡、大原郡、仁多郡、隠岐島) 旧西郷町に島根県西郷土木事務所を設置
- 昭和35年 知夫村、海士町、西ノ島町に土木駐在所を設置
- 昭和52年 4月 土木駐在所を統廃合し、西ノ島町に島前出張所を設置
- 平成3年 4月 建設行政を推進するため西郷土木建築事務所に改称
- 平成8年 4月 銚子ダム建設のため、ダム建設室を設置
- 平成9年 4月 新隠岐空港の建設のため、空港整備室を設置
- 平成11年 4月 隠岐空港建設事務所を設置(空港整備室は廃止)
- 平成12年 4月 隠岐支庁の体制強化のため隠岐支庁土木建築局と改組
- 平成14年 4月 銚子ダムの完成に伴いダム建設室を廃止
- 平成16年 4月 用地管理課を用地課、維持管理課に、工務課を工務第一課、工務第二課とし、組織の充実を図った。
- 平成17年 4月 島前出張所に業務課、工務課の2課制を導入し組織化を図った。
- 平成18年 4月 県全体の組織改正に伴い、業務部・工務部・建築部・島前事業部・技術管理スタッフの4部・1スタッフ制となった。
- 平成24年 4月 維持管理部を新設
- 組織改正により土木建築局と農林局公共事業実施部門とが隠岐支庁県土整備局と改組(空港建設局廃止)
- 企画調整スタッフを設置

## 公共予算の推移



### ● イベントの開催

事業に直接触れてもらうことで親しみや関心を持ってもらいます。



空の日イベント（隠岐空港）



トンネル見学 かたくりトンネル



銚子ダム見学



銚子ダム見学（監査廊内）

### ハートフルしまね

島根県公共土木施設（道路・河川・砂防・海岸・公園）愛護ボランティア支援制度は施設の清掃や美化などにご協力頂けるボランティア団体を支援しています。



### 臨港道路清掃

道路などの施設を快適に利用して頂けるよう、職員による清掃活動を行っています。



# 日常的な保守点検と適切な維持管理

### 道路施設の総点検

トンネルや橋梁、道路標識等の道路施設について、落下・倒壊等による第三者被害を防止するため、総点検を実施しました。老朽化したものについては、補修等の対策を順次実施していきます。



### ● 道路パトロールと維持補修



日常的なパトロールにより道路の異常をいち早く発見し、通行規制や応急処理等の早急な対応と補修を行います。

### ● 交通安全施設等整備



隠岐の島町西町

安全・快適な交通環境の整備を推進するため、歩道の新設・拡幅や段差の解消、電線類の地中化を行います。

### ● 災害防除



隠岐の島町南方

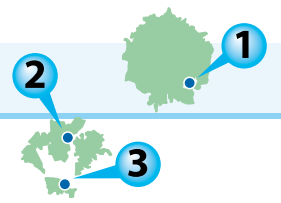
崩土や落石等の恐れがある通行危険箇所の対策工事を行います。

### ● 除雪作業



通勤・通学路や重要な輸送路を確保するため除雪を行います。

# 島民の生活と産業活動を支える港の機能強化



## 1 西郷港



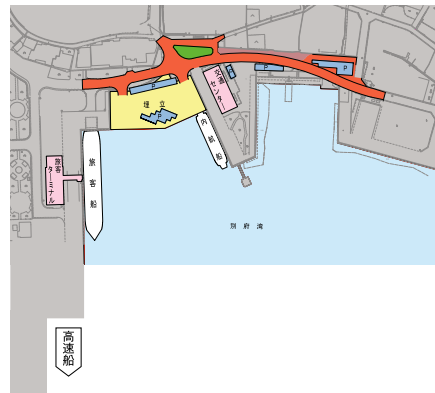
### 西郷港 本港地区

大型船舶に対応するふ頭機能の強化、大規模地震災害等の緊急物資輸送基地としての機能確保、施設利用のためのふ頭用地確保を目的に、平成11年度から現岸壁の位置より沖側へ35m前出した新たなフェリーふ頭の整備を進め、平成22年7月に新フェリー岸壁とターミナルビルが完成、平成25年7月には高速船岸壁が完成し、隠岐島の生活・産業を支える重要な港湾として機能しています。

### 西郷港 本港地区(東町)

本港地区の北側に位置する東町の船だまりは、漁船対策施設として整備してきましたが、依然として係留施設が不足しており、また台風、低気圧等の異常気象時には防波堤開口部からの進入波による越波被害が発生しているため、平成25年度から物揚場(-2.0m)及び海岸護岸整備の事業に着手しました。

## 2 別府港



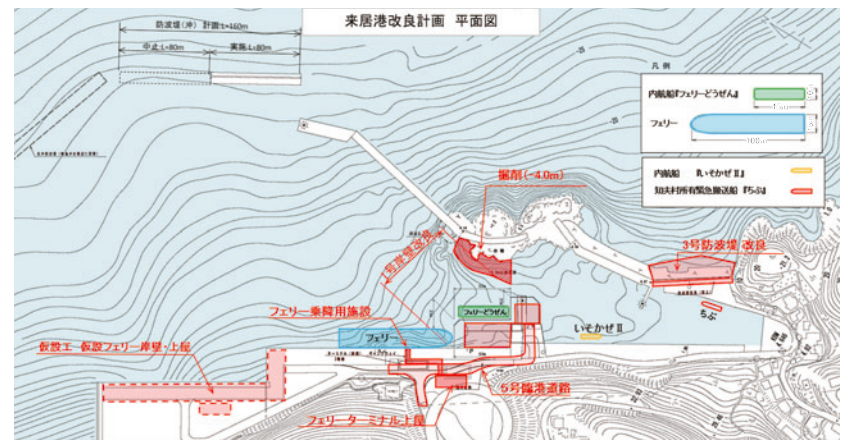
### 別府港

島前3島を結ぶ内航船(フェリーどうぜん)が発着する岸壁周辺は、背後地が狭く、臨港道路に乗船待ち車両があふれ、降船車両や通行車両と輻輳している状況であり、また、臨港道路も線形や交差点形状が悪く、交通安全上に課題がありました。

このため、平成21年度から内航フェリー岸壁、駐車場の整備を行い、乗船車両の駐車スペースを確保するとともに、臨港道路の線形改良を行ってきました。

平成26年12月に一連の整備が完了したことにより、内航フェリーの基地港としての機能や利用者の利便性・安全性が向上しました。

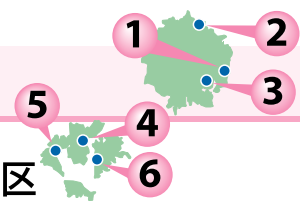
## 3 来居港



来居港はフェリーや内航船が寄港する知夫村唯一の港ですが、静穏性が悪く、内航船の接岸形状がよくないため、他の港に比べて欠航率が高くなっています。また、来居港だけが船内の急な階段を使用して乗降する必要があり、ターミナル上屋も建設から30年以上経過し老朽化が進んでいます。

そのため、岸壁の改良工事とあわせてターミナル上屋および乗降用通路(ギャングウェイ)の整備を進めています。

# 地域間交流を促進する道路



## 1 (主)西郷布施線大久3工区



西郷布施線大久3工区  
 (主)西郷布施線は、隠岐の島町東側地域の暮らしを支える重要な幹線道路です。  
 釜から大久地区に向かう区間は、幅員が狭く車の通行に支障をきたしていることから、交通の安全を確保するため、2車線道路として改良工事を進めています。

## 2 一般国道485号西村工区



国道485号の中村から西村地内にかけては、幅員が狭く歩道も未整備のため、車の走行や歩行者の安全に支障をきたしています。  
 そのため、円滑な交通が確保できるよう安全で安心な2車線道路として、改良工事を進めています。

## 3 池田中町線中町工区



池田中町線の中町から栄町に至る区間は、周辺のトンネルや臨港道路の整備により、かつての幹線道路から生活道路へと役割が変化しました。  
 そのため、街並みを保存しつつ「歩行者の歩きやすい道」をめざし、歩車共存道としての整備を進めています。

## 4 一般国道485号別府バイパス



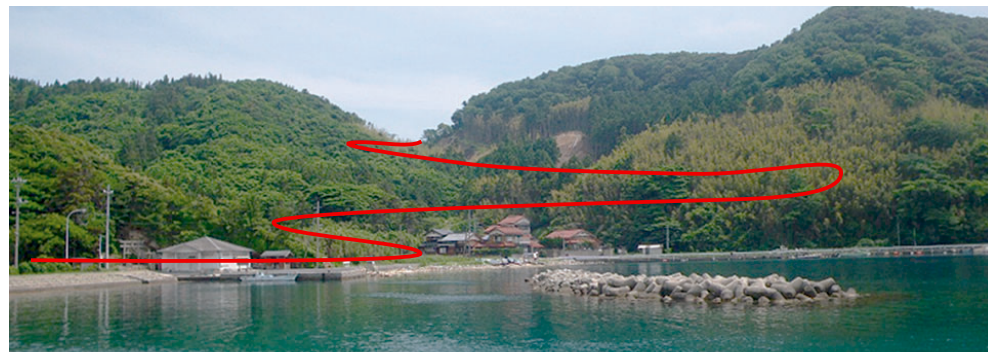
国道485号は西ノ島の東の玄関口「別府港」と西の玄関口「浦郷漁港」をつなぐ動脈となる路線です。交通の難所を解消するために整備を進めてきた別府～美田地区のバイパスが平成23年3月に完成し、東西の円滑な交流促進、利便性向上及び観光振興に貢献することが期待されます。

## 5 (一)国賀海岸線浦郷工区



国賀海岸線は、小中学校への通学路、生活道路及び国賀海岸への観光道路として重要な路線となっていますが、当区間は幅員が狭小であるため歩行者の安全、利便性向上、及び観光振興に寄与できるよう道路整備を行います。

## 6 海士町道日須賀線日須賀工区



海士町の日ノ津地区と崎地区を結ぶ一般県道日ノ津崎港線は、幅員が狭く見通しの悪い箇所が多数あり、また、災害等により通行不能となった場合には崎地区が孤立する恐れがあります。そのため、日ノ津崎港線の代替道路として、2車線で整備されている町道日須賀線を延伸することで、安全・安心に通行できる道路の整備を進めています。

## 土砂災害を防止し、地域住民の生命と財産を保全

### ● 土石流災害による被害の防止



### ● 地すべりによる被害の防止



### ● がけ崩れによる被害の防止



### ● 林地荒廃の防止



森林が荒廃すると、水源かん養機能や土砂流出防止機能など森林が有する公益的機能が低下してしまいます。荒廃した森林を復旧し、災害の防止を図ります。

## 安全で潤いのある海岸整備

1

### 1 別府港海岸保全(高潮)事業



護岸の老朽化が進んだことや、波浪時に背後の家屋に越波被害が生じていることから、平成8年度より新たに海岸保全事業を進めています。緩傾斜護岸などの配置により、親水機能も併せ持った保全施設整備を行っています。

## 再度災害の防止

2

### 2 油井川

油井川では、平成19年8月の記録的な豪雨(総雨量339mm、最大時間雨量131mm)により、土石を伴った洪水が河道を埋塞させ、住宅浸水や上下水道施設等が被災するなど甚大な被害を受けました。このため、不安定土砂や倒木等が流出しないよう、砂防えん堤を整備しました。

### 災害関連緊急砂防事業



### 河川災害関連事業



## 4 隠岐空港



隠岐の島の地域振興と活性化、離島における民生の安定及び高速交通のニーズへの対応のため、小型ジェット機の就航可能な2,000m滑走路を整備しました。

### 開港後の利用状況

小型ジェット機の就航により、夏期の大阪便の輸送力が大幅に向上し、交流人口の拡大にも大きな効果がありました。

また、滑走路の延長や計器着陸設備の整備等により、就航率も旧空港に比べ、6%（通年）近く向上しました。

### B737-800



### 概要

	計	画※1
標点の位置	北緯 36° 10' 31" 東経 133° 19' 34"	
標点の標高	80.00m	
着陸帯の等級	C級	
舗装帯の強度	LA-2	
計器着陸の有無	非計器着陸 (LLZ)	
夜間着陸の有無	夜間着陸に供する	
予定航空機の種類	小型ジェット (MD-81)	
着陸帯の長さ・幅	2,120m × 150m	
滑走路の長さ・幅	2,000m × 45m	
滑走路の方向(磁方位)	北 75° 13' 19"	
誘導路の長さ・幅	130m × 23m	
エプロン面積(舗装種類)	18,900㎡(コンクリート)	
エプロンバース数	小型ジェット機1バース プロペラ機3バース	
航空灯火	進入角指示灯、 進入路指示灯等	
航空保安無線施設	LLZ、VOR/DME	

※1) 施設変更許可申請による。

### 沿革

- 昭和37年11月 県営隠岐空港設置許可
- 昭和40年 8月 航空法第79条但書により開港  
滑走路 1,200m × 30m  
米子便開設  
デ・ハビランド・ヘロン機就航
- 昭和41年 7月 出雲便開設
- 昭和43年 7月 隠岐空港供用開始(第3種F級)  
YS-11型機就航
- 昭和50年 4月 大阪便開設、YS-11型機就航
- 昭和54年 4月 滑走路を1,500m × 45mに拡張  
第3種D級として供用開始
- 平成18年 7月 新滑走路2,000m × 45m 供用開始

### 夏期(7、8月)の大阪便の利用状況

	新空港 (平均)①	旧空港 (H17)②	増減 ①-②	倍率 ①/②
定員	16,240	12,396	3,844	1.31
乗降客数	12,371	8,192	4,179	1.51
利用率	76.17%	66.09%	10.09%	1.15

(H18~H26平均)

### 冬期除雪状況

新空港では、従来のスノーダンプに加え、新たにスノースーパーが配備され除雪に活躍しています。



### 島根県防災ヘリ

「はくちょう」本土の病院への急患輸送のため、県の防災ヘリ、Dr.ヘリ等が空港を利用します。



# 公共施設の耐震性を向上

## 県立高校の耐震補強工事



隠岐高等学校 (外観)



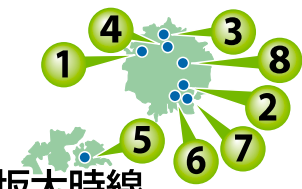
隠岐高等学校 (内観)



隠岐水産高等学校 (内観)

学校施設は、児童・生徒の活動の場であるとともに、地震時は地域住民の応急避難場所として大きな役割を果たすことから、その耐震性の向上を図り、安全性を確保することは極めて重要です。

隠岐管内の県立学校においても、計画的に耐震補強工事を実施しています。



## 1 ほ場整備



隠岐の島町南方・北方

農地の区画の整形・大型化、用排水路や農道を整備します。

農地の大区画化（約10a→30a～1ha）や用水路のパイプライン化等により、労働時間や生産コストを削減し、担い手への農地集積を促進します。

## 5 農道整備(諏訪御波農道)



海士町海士～御波

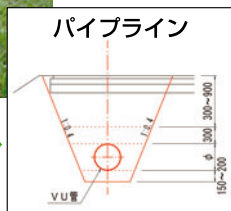
海士町南側の集落と北側の町中心部を繋ぐ農道です。

農道の開通により、農産物の輸送時間が短縮されことはもとより、菱浦港や学校、医療機関、福祉施設等への移動も楽になり、集落の生活環境の改善に繋がりました。

## 2 用水路整備



隠岐の島城北町他  
(八尾川以南地区)



ほ場整備後30年以上経過し、老朽化した隠岐の島町城北町・下西・平地内の水田の用水路（開水路）をパイプラインに改修します。農業用水を安定供給するとともに、パイプライン化により、水田の用水管理や水路の維持管理の省力化を図ります。

## 6 農道整備(西田農道)



隠岐の島町西田～下西

隠岐の島町西田地内と下西地内を結ぶ農道です。

農産物輸送の効率化や農村地域の利便性の向上を図ります。農道の開通後は自転車通学の中学生も利用しています。

## 3 ため池整備



隠岐の島町伊後（栗ヶ谷池）

堤防の漏水や浸食など老朽化した危険な農業用ため池を改修し、集中豪雨や大地震時等のため池決壊を未然に防止します。農業用水を安定的に確保するほか、ため池下流の集落や公共施設等の安全性の確保に繋がります。

## 7 農道保全対策(西郷大橋)



隠岐の島町岬町

隠岐の島町の玄関口西郷湾に架かる西郷大橋は西郷広域農道岬線の一部として整備され、30年以上経過しています。昭和52年の完成後、定期的（10年毎）な塗装や老朽化した部材の補修を行い、その機能と美しさを維持しています。

## 4 林道一の坂大時線



隠岐の島町中村

当該路線を基幹とし既設林道との路網形成を図り、林地への到達時間の短縮により労働条件の改善、施業対象地の拡大など効率的な森林管理を図るため、隠岐の島町小路地内と湊地内を結ぶ林道を整備しました。

## 8 林道上ヶ床線

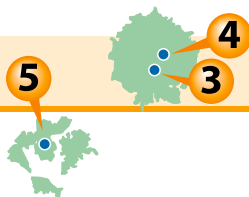


隠岐の島町原田

当該路線を基幹とし既設林道との路網形成を図り、林地への到達時間の短縮により労働条件の改善、施業対象地の拡大など効率的な森林管理を図るため、隠岐の島町原田地内と郡地内を結ぶ林道を施工中です。



# 洪水や濁水被害の軽減



## 3 八尾川総合流域防災事業

八尾川沿線地域は、度重なる洪水に悩まされていましたが、順次改修工事を進め、平成9年には河口部の放水路が、平成12年には上流部支川に銚子ダムが、また平成21年には支川有木川の改修工事が完成しました。

途中、平成19年8月には隠岐豪雨災害に見舞われ、中流部が氾濫したため、推進費を投入し河積の拡大を図りました。

上流部においても狭窄部となっていた固定堰の撤去をはじめとした河積の拡大を図り、平成24年3月には全区間の改修工事が完成しました。



着工前



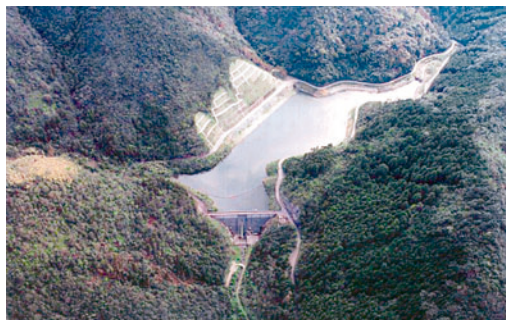
完成

## 4 銚子ダム



隠岐の島町の洪水調節・水道用水の確保及び既得用水の安定化を目的としたダムとして、平成12年に八尾川水系銚子川に完成しました。ダム完成以降も過去の水害に匹敵する豪雨に見舞われましたがダムの効果を発揮し、被害を最小限に押さえています。

## 5 美田ダム



洪水調整・水道用水の確保及び既得用水の安定化を目的としたダムとして、昭和53年に隠岐郡西ノ島町の美田川水系美田川に完成しました。しかし、ダム建設後、計画を上回る降雨による洪水被害が発生し、また、夏期の水需要に対応するため、貯水容量の拡大が必要となりました。これらの問題を解決するため、平成6年度からの予備調査を経て、平成9年度から美田生活貯水池(再開発)事業に着手し、平成15年3月に完成しました。

### 銚子ダム完成前



### 銚子ダム完成前



### 銚子ダム完成後



### 銚子ダム完成後



ダム完成以降もたびたび豪雨を経験していますが、ダムの洪水調節機能により被害を防いでいます。

ダム完成以降も降雨の少ない時期がありましたが、ダムの貯水機能により濁水被害を防いでいます。